

# 入学当局の虚疑と反動を拒否しつつ訣別の辞を!

## 4・30 団交に結集せよ

大私たちが存することよりも、矢張りこの重きのが重要である。という  
ことを知らねばならない。

全団交のサークルを諸君、並に神田の同志諸君、現在、迫りくまへ政治的  
まねに個別明治大学も国民学生闘争の戦列に加わった。あくるめく我々の  
目的に、秩序の再編成を試みる政府ブルジョワジーに對し、4・28の学  
園ハリケードストライキを遂行して来た我々の反大行い反秩序の思惑は、一昨日  
4・28の街頭デモに転化していった。それに対し、指カは如実にその不伴を  
露わし、我々同志に血の雨をふらせた。だが、我々の指カが家父の全ても  
覆かぬはならない。それほりともあらず、我々の大卒の中に、秩序として  
入学当局が帝大主目的再編としての新たな大卒を受け入れようとしているこ  
ともである。具体的には中野署答申、そしてその懷柔として、学生考査と  
して、である。それは、現行大卒を更に強固な政府ブルジョワジーと臨ん  
だ管理支配体制の下に留ま、極めて管理主目的大卒としての機能を發揮させよ  
うとするものなのである。明治大学の最も愛らうな我々に對する弾圧はその  
近代管理主義の書籍された帝大主目的大卒の再編成を固に固めない形に推進  
させようとしていることである。何故我々が闘かうのか、誰とか?答は明白  
で、我々一切とである。大卒当局が自治という時、それはただ学生は平穏に学  
習して、これは自治は守れぬというおまじり内省なのである。そして事が起  
くると口先だけの弁解、無節操ぶり、我々は、はつきりと表明する。我々に  
は(自治)などない。ただあるとすれば、現行的に諸君に對するも斗か  
いの中で自治の末路がある。それは、我々には(自治)を守らぬという言葉は  
ない。(自治)は奪い取る過激な中で我々も、それ値である。へ我々は  
苦勞せねばならない。全ての教養を拒否しつつ、刃を自らにも架しつつ、説  
うねばならない。何ゆゑ我々が固められている現在、我々自身に對してもそ  
れは同様である。最も自席的の考えでかつラディカルな。我々にと  
つて大卒とは何か?我々はこのように固い、永続的の考えを試みねばならぬ。  
同志諸君があれぞとよ。我々は昨日からはじまったばかりなのだ。何  
れにも増して、運動の條件を兎も運動に展開させること、サークルは同志と  
生きたるべきことが出来るのだ。(迎撃)から(展開)のサークルへと、サーク  
ルの後継の敵しい面が絶えなく続けられている。

。サークルにラディカルな根柢的は根柢を覆えつけれ!!  
。何がいのか、ノロシをあげて戦列を固めよーサークルに斗争を命を投下せよ!

PM 1 時より、学館 5F ホール 文連本部 主催!